

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（1個人・4団体）

なかの たかお
中野 孝男 様

（元熊本県電波適正利用推進員協議会 会長）

熊本県電波適正利用推進員協議会会長をはじめ、長きにわたり協議会の活動に尽力し、電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に推進するなど、電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

熊本県御船町 様

（代表：町長 藤木 正幸）

町全体へ無線通信網を整備し、災害時における避難状況の把握や、迅速な避難所の開錠を可能とするシステムを構築するなど、電波の利活用による防災対策の高度化に多大な貢献をされました。

熊本大学病院医療情報経営企画部 様

（代表：部長 宇宿 功市郎）

無線デバイス端末による院内医療用ネットワークの構築や、ME機器管理システムの導入とともに、患者向け無線LANサービスの提供など、先進的な医療システムの整備を行い、電波の利活用による医療分野の高度化に多大な貢献をされました。

有限会社協同ファーム 様

（代表：代表取締役社長 日高 義暢）

養豚場にIoTを導入し、遠隔でのリアルタイムモニタリングなどの実現により、作業の迅速化や短縮化を図るなど、電波の利活用による畜産分野の高度化に多大な貢献をされました。

有限会社鈴木組 様

（代表：代表取締役社長 鈴木 美保子）

地域資源を活用したチョウザメ養殖事業にIoTを導入し、さまざまな情報のモニタリングを行うことにより、効率的なキャビアの生産を実現するなど、電波の利活用による水産分野の高度化に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1個人・3団体）

うしじま せいごう
牛島 清豪 様

（株式会社ローカルメディアラボ 代表取締役）

地域オープンデータの推進に積極的に取り組むとともに、地域情報化アドバイザーとして、多くの自治体の地域課題解決のための指導や助言を行うなど、地域情報化に多大な貢献をされました。

長崎県立長崎工業高等学校 様

（代表：校長 梅野 剛）

長年にわたり工事担任者資格取得の推進を通して、情報通信に関する知識や技術を有する若手技術者の育成に多大な貢献をされました。

国立大学法人長崎大学 様

（代表：学長 河野 茂）

離島での医療推進のため、ビッグデータを活用した調剤情報共有システムを長崎県五島市で構築・運用するにあたり、幅広い支援を行うなど、情報通信による医療分野の高度化に多大な貢献をされました。

西日本鉄道株式会社 様

（代表：代表取締役社長執行役員 倉富 純男）

スマートフォン向けマルチモーダルモビリティサービスを共創し本格実施するなど、情報通信を活用した円滑な人の移動や、街の賑わい創出に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞（学校部門）

佐伯市立鶴谷中学校 様

（代表：校長 松下 伸生）

標語『書きこんだ 言葉の重さ 気づいてる？』

標語の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。